

令和7年度「連携についての実践報告集」

山梨県立吉田高等学校

実践事例 1

令和6年度「教育ボランティア」

本校では地域貢献の一環として、平成20年度より、進路が決定した3年生を近隣の小中学校へ教育活動の支援を行うスタッフとして派遣してきました。この事業を通じて、本校の教育活動への理解を深めていただくこと、地域全体の教育力の向上に貢献することが目的です。

教育ボランティアの活動は、小中学校からも高い評価を受けると同時に、参加した生徒たちにとっても、高校生活の最後を飾る有意義な行事となってきました。

教員志望の生徒や福祉、ボランティア活動に興味関心を持つ生徒が多数参加しているこの活動を、今後も推進していきたいと考えています。

〈 概 要 〉

1 派 遣 校 下吉田第二小学校 忍野小学校 下吉田中学校

2 活 動 日 令和7年2月中

(登校日を除く。本校の校内行事に支障のない範囲で活動)

[下吉田第二小学校] 2月17日(月)、18日(火)、20日(木)
いずれも終日(給食あり)

[忍野小学校] 2月17日(月)、18日(火)、20日(木)
いずれも終日(給食あり)

[下吉田中] 2月18日(火) 15:20~17:00
20日(木) 15:20~17:00

3 活 動 内 容

[下吉田第二小学校] ・授業中の教科学習補助
・清掃、給食活動の補助

[忍野小学校] ・授業中の教科学習補助
・清掃、給食活動の補助

[下吉田中学校] ・定期試験に向けて放課後に行う、英語・数学等の補習補助



実践事例 2

プロジェクト 2 2 3 (フジサン 🍄)

本校では、地域社会が抱えている様々な課題について、主体的にとらえ、考え、解決に導く力を生徒に身に付けさせるという観点から、総合的な探究の時間に「富士山学」という課題探究活動を行っています。富士山学の基本的構成は、さまざまな領域から講師を招いて基調講演を受ける中で、多くの知識や情報を自分の中にインプットして行く段階とそこから得た情報や知識を土台に自らが問いを見つけ探究し、実際に活動をして行くアウトプットのステップ構成となっています。「プロジェクト 2 2 3」は、そのインプットの段階に該当するものです。

【プロジェクト 2 2 3 目的】

- ① 富士北麓地域において、地域のために行われている取り組みに関し、より実際的な話しや経験談を聞くことで、「富士山学」への各自の取り組みの参考とする。
- ② 「富士山学」への各班の取り組みについて、富士山および富士北麓地域で活動している方々から助言をいただき、今後の活動に活かす。
という、より一歩踏み込んだ、体験や経験談、あるいは実体験をするというものです。

〈 概 要 1 学年 〉

実施日 6月18日(水) 13:00~15:45

実施内容 富士吉田商工会青年部の講師から、7会場に分かれて実践的事例の講義を受ける。生徒は希望分野を2コマ(各50分)選択し受講する。

講座内容（計7講座）

- ① 「情報・科学・防災」 上田和弥(キャップクラウド株式会社)
会社の事業として富士山駅 2Fにあるコワーキングスペース「ドットワーク Plus」を運営しながら、地域コミュニティでの経験を活かして人や企業を繋ぐことを信条としている。情報 IT とコミュニティの大切さについて講演いただいた。
- ② 「地域・まちづくり」 山崎博之(山崎織物株式会社)
シルク生地を中心とした生地の開発のほかに「心に花を咲かせる」自社製品ブランド「富士桜工房」を主宰。事業を通じたまちづくりについて講演いただいた。
- ③ 「食」 高橋亮太(株式会社かぎしっぽ)
地域おこし協力隊として富士吉田市に移住、『食を通じた地域活性』をテーマに活動を進めながら、2018年4月に西裏にてイタリアンレストランかぎしっぽを開業。移住、地域活性の取り組み、経営者としての視点について講演いただいた。
- ④ 「スポーツ・運動」 五十嵐雅彦(一般社団法人ふじざくらスポーツクラブ)
この地域の課題に対してクラブとして解決していく、地域に根差した活動を通じて地域を盛り上げていくスポーツ×地域活性化の奥深さについて講演いただいた。
- ⑤ 「健康・福祉・医療」 小林恵(株式会社まるやま)
介護関係の会社を経営、長年介護業界に従事してきた経験から、高齢化社会となりつつあるこの地域にだからこそ大切にしてほしいことを講演いただいた。
- ⑥ 「芸術・文化」 小林純(合同会社新世界乾杯通り)
かつての西裏が残した文化と令和に入りさらに盛り上がりを見せる新たな西裏について通りの管理者としての目線から講演いただいた。
- ⑦ 「国際」 小林佑輔(株式会社 弥佑)
英国での留学を経験を踏まえたノウハウを活かしながら地域の事業者とのコラボレーションを行いながら衣料品店の経営を行っている。自身の経験やインバウンドの増えた富士吉田の課題について講演いただいた。

